

施設定期検査の見直しに関わる設備点検の概要について

2022年7月1日

東京電力ホールディングス株式会社

2022年6月17日の面談において、長期保守管理計画と施設定期検査（社内）の法律（1F規則）との関連と、保全の見直しについて説明

この面談において、「より具体的な点検内容、点検の実施時期を確認したい」とのご要求があったことから、ALPS（多核種除去設備）を代表として回答する

①ポンプの例

＜点検周期：4FY:ポンプ分解点検 8FY:ポンプ交換＞

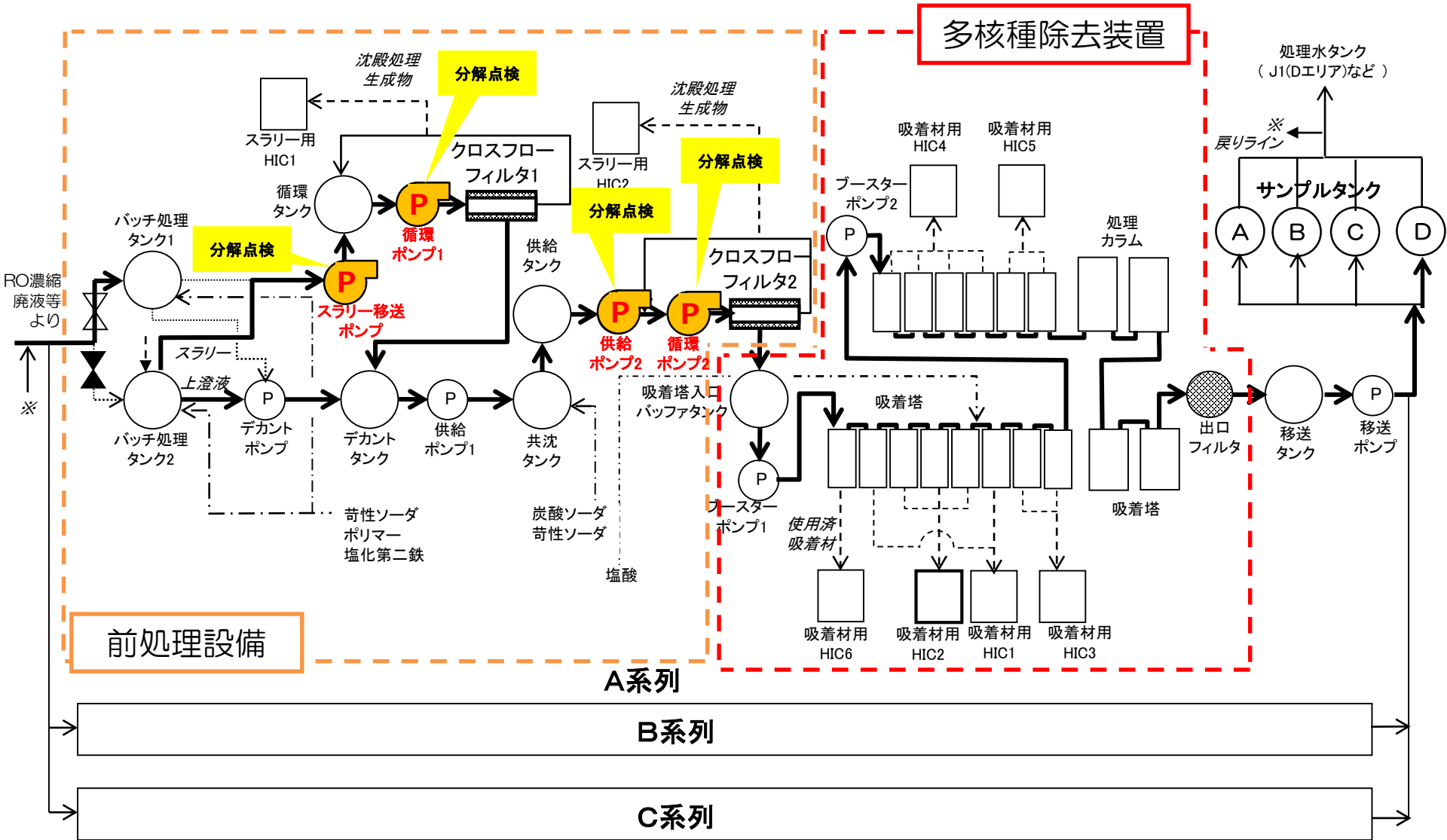
- ・ポンプについては、主に分解点検と本体交換の2種類の点検を計画。
- ・分解点検の項目は主に、メカニカルシール・ガスケット等の消耗品交換、潤滑油の補充又は入替等を実施予定。
- ・2022年度点検は、28台分解点検・22台ポンプ交換を予定。
→2022年9月までは増設ALPS、10月～3月は既設ALPSを点検予定。

②弁の例

＜点検周期：10FY＞

- ・弁については、主に分解点検と本体交換の2種類の点検を計画。
- ・分解点検の項目は主に、弁箱内面の点検手入、弁体、弁座、弁棒点検手入、グランドパッキンの交換、漏えい検査、動作確認を実施予定。
- ・2022年度点検は、198台分解点検・344台交換を予定。
→2022年9月までは増設ALPS、10月～3月は既設ALPSを点検予定。

2. 既設ALPS A系 ポンプ分解点検対象（一部）について



3. 既設ALPS A系 弁分解点検対象について

